

①ヘッダー情報
パート

中間発表会資料 書き方の手引き (実験系)

班番号

タイトル (テーマ)

年 月 日

県立船橋高校 1 年 組 番 氏名

組 番 氏名

(代表に○) 組 番 氏名

組 番 氏名

②テーマ設定
パート

目的 何を明らかにしたいか明確に記す

チェックリスト ☐ 学問的に意義のある問い (普遍性・一般性につながる問い) になっているか。
☐ 漠然としていないか。 悪い例: ○○について調べる

仮説 研究開始時点での自分達の予想結論を記す

実験方法 (自分達が行った実験の方法)

使った器具や設定した実験条件等を記す。図や写真で示すと良い。

③方法・結果
パート

実験結果 (実験のデータ)

実験により取得した事実データを記す。表やグラフにまとめると良い。

チェックリスト ☐ 示すべき実験条件を漏れなく記しているか。
☐ 実験の試行回数を示しているか。
☐ 数値の単位を示しているか。
☐ グラフの種類は適切か。グラフの横軸・縦軸は明記されているか。

④考察パート

③と合体してもよい

考察・結論 (データの考察)

データを様々な角度から考察し、導き出した結論を記す。

必ずしも一つの結論に収斂しない場合は、いくつかの可能性を記しても良い。

※中間レポートでは「結論」の代わりに「今後の展望」を記しても良い。

チェックリスト ☐ 単なるデータの説明に終わっていないか。
☐ データのバラツキの原因が考察されているか。
☐ 実験結果 (データ) と結論が論理的につながっているか。

パートの囲み線は不要
パートの大きさは適宜

※研究内容により「実験」を「観察」等と読み替える。

※写真・図表等の印刷物は実物投影機で映写可能 (担当者に事前に相談)

※ワープロ用記入枠 (Word 版) → 船高全日制サイト → SSH → SSH 専用ページ → ダウンロード可